

ヒト癌細胞の遊走・浸潤におけるファシンの機能解明と免疫組織化学的 発現解析素

1. 研究の対象

1990年4月～2010年3月までに、高知大学附属病院で「肝細胞癌、乳癌」と診断された方

2. 研究目的・方法

治療の過程で得られた臨床情報を分析すると共に、治療や診断の為に摘出された組織に新たに免疫組織化学的に再検討し、予後を推察するバイオマーカーを詮索し、検証します。さらに、癌細胞の転移を抑制する治療薬のターゲットとなるタンパクを選び出し、今後の治療に役立てます。

研究期間:倫理委員会承認日～2026年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

＜試料＞

腫瘍摘出手術、または剖検により病理組織診断の為に摘出された組織

＜情報＞

性別、生年月日、内服・注射や手術を含む治療歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：村上一郎

高知大学附属病院病理診断部
南国市岡豊町小蓮
Tel 088-866-5811

-----以上